

ビジネスに役立つ！心理学＆占いコラム(第4回)

[占星術] 星座で見る、相手の“一歩先”を読む方法

2016.07.22

ビジネスでもプライベートでも、「空気を読む」「相手の気持ちを読む」「先を読む」、これらのスキルは必須です。

こうしたスキルは、ちょっとしたコツやテクニックを知ること、伸ばすことが可能です。例えば星座別の行動パターンを知り、先手を打ったり、失敗後のフォローをしたりすることで、ビジネスパーソンとしての評判が上昇することは間違いありません。

今回は占星術に基づいた“相手の先を読む”方法を紹介します。

3つの「宮」で行動パターンが異なる

占星術における12星座は、「活動宮」「不動宮」「柔軟宮」という、3種類の「宮」(きゅう)に分類ができます。「宮」ごとに、行動のパターンが違ってきますので、どの宮がどのような行動パターンを起こすかを知っていれば、仕事でも先手を打ったり、フォローに回ったりすることが可能です。

まずは相手がどの「宮」に属するのか、以下の一覧から調べてみてください。その後、各「宮」の特徴について説明します。

【活動宮】

自分で行動を起こす。自分から行動を起こす。他人に積極的に働きかける。

- ・牡羊座 3月21日から4月20生まれ
- ・蟹座 6月22日から7月23生まれ
- ・天秤座 9月24日から10月23生まれ
- ・山羊座 12月23日から1月20生まれ

【不動宮】

現状を維持しようとする。粘り強く1つのことに取り組むが、頑固なところがある。

- ・牡牛座 4月21日から5月20生まれ
- ・獅子座 7月24日から8月23生まれ
- ・蠍座 10月24日から11月22生まれ
- ・水瓶座 1月21日から2月19生まれ

【柔軟宮】

適応能力がある。周囲に合わせて自分の対応や態度を変えるため、自分の意志を突き通すことが少ない。

- ・双子座 5月21日から6月21生まれ
- ・乙女座 8月24日から9月23生まれ
- ・射手座 11月23日から12月22生まれ
- ・魚座 2月20日から3月20生まれ

【活動宮】出しゃばり行動はNG！泳がせてさり気なくフォロー… 続きを読む